

「適切なネット利用対策」実践事例

団体名：大阪市立堀江中学校

1. タイトル

小中連携【生徒会による情報モラル出前授業】

副題「～情報機器に関するトラブル〇をめざして～」

2. 取組みの趣旨・目的

情報モラルに関する出前授業を、本校生徒会の生徒たちが校区の小学校6年生児童を対象に行う。出前授業では、事前に児童を対象に実施した「情報機器に関するアンケート」調査をもとに、その集計結果を発表する。そして、昨年度、本校文化発表会で発表した「LINEによって起こりうるトラブルを想定した劇」のDVDを見せる。さらに、児童たちに何が問題であるか、どうしたらいいかを考えさせる授業を展開する。授業は教員ではなく、本校生徒会の生徒たちが行うことにより、児童たちが問題をより身近なものと感じ、真剣に考えて、さらに関心を高めてもらうことをねらいとする。生徒会が主体的に取組を進めることで、自ら課題を見つけ、考え、解決していこうとする生きる力の育成にもつなげていくことができる。

3. 取組み内容

本校では、平成26年6月に全校生徒を対象に情報機器に関する実態調査（アンケート）を実施した。また、同年の7月にはそのアンケート結果をもとに、教員が本校生徒に対して情報モラルの授業を実施した。さらに、その授業と並行して、生徒会が独自にアンケートを作成した。そのアンケート結果とLINEで身近に起こりうる問題を想定した劇を文化発表会で発表し、本校の生徒に生徒から伝えるという取組を実施した。また、7月にはアンケート結果を保護者にも報告し、外部より講師を招いて、生徒、保護者への講演とともに、教員から保護者へ情報を伝達するなど、多方面に渡り情報モラル教育を実施してきた。

今年度は4月に全校生徒を対象として前年度と同様のアンケートを実施して、継続的に生徒の実態把握に努めてきた。また、8月には小中合同の教員・保護者向けの研修会も実施し、情報モラル教育においての小中連携の取組を進めた。そして本事業では、小中連携の一環として、また、9年間の連続性を視野に入れた効果的な情報モラル教育を実施するべく、本校に入学予定の校区小学校6年生を対象に中学生による出前授業を実施した。実施日時および実施校は次の通りである。

平成27年9月3日（木）6限 14：50～15：35 大阪市立日吉小学校

平成27年9月4日（金）6限 14：45～15：30 大阪市立堀江小学校



4. アピールポイント

小中連携の取組として、教員同士の交流だけでなく、子ども同士の交流に着目し、9年間を見通し子どもの発達段階に応じた情報モラル教育を推進・継続させるために、次の3つのポイントを考えた。

- ① 出前授業では「話す」だけでなく、相手に伝えるための表現を工夫させる。その一例として、実際に起こりうる場面を再現した「劇」を見せたり、ICTを活用したりする。話だけでなく、劇やICT活用を通してより分かりやすく伝えることで、児童がその問題点を自分たちで気づき、より現実の場面に近づけて考える機会をつくることができる。また、生徒にとってもさらに場面が具体化して理解が深まる。
- ② 教員や保護者など「大人から学ぶ」のではなく、「身近な先輩から学ぶ」形態をとる。生徒会が主体となり中学生が授業を行うことで、情報機器の問題を児童生徒がより身近なものとしてとらえ、その問題解決のためにどうしたらいいかを考える機会にし、相互に情報モラルについての意識を高めることができる。
- ③ 中1ギャップの解消とともに、中学生の発表の態度を通して礼儀正しさや規律の大切さを児童に示す。児童に対して、中学校において必要な礼儀正しさや規律の大切さを体感してもらうため、生徒会の生徒たちが堂々と自信をもって授業ができるよう、リハーサルを念入りに行い、教員が支援する。

5. 成果

授業後に実施した児童の感想文では、「LINEを中学生で始めようと思っていたのでそのデメリットもよくわかりました。」「LINEは顔がわからない分しっかりと考えて使う必要があることがわかりました。」「スマホを持っていて必要なものだと思うので使い方を間違えないようにしたいと思いました。」「LINEで友だちとトラブルになったことがあり、相手も自分も嫌な思いをしたことがありました。改めて使い方に気を付けようと思いました。」といった内容があり、情報機器に潜む危険性を知らせ、その危険を身近に感じてもらうという目的を達成できたと考えられる。また、子ども同士の交流を図り、礼儀正しく信頼できる先輩の姿を示すことで、小学生にとっても中学生に対する安心感が高まり、中1ギャップの解消にもつながっていくと感じている。

6. 課題と今後の取組みについて

本取組で授業を受けた小学校6年生が来年度は本校に入学してくることから、さらに発展的な内容の情報モラル教育を中学1年生で行いたい。また、本事業の中で6年生に対して情報機器の所持やLINE、ツイッターなどのSNSアプリの使用に関するアンケートを実施したので、次回は中学校の入学とともに再調査を行い、どの程度変化が表れるのか等を把握し、生徒指導に役立てていきたい。